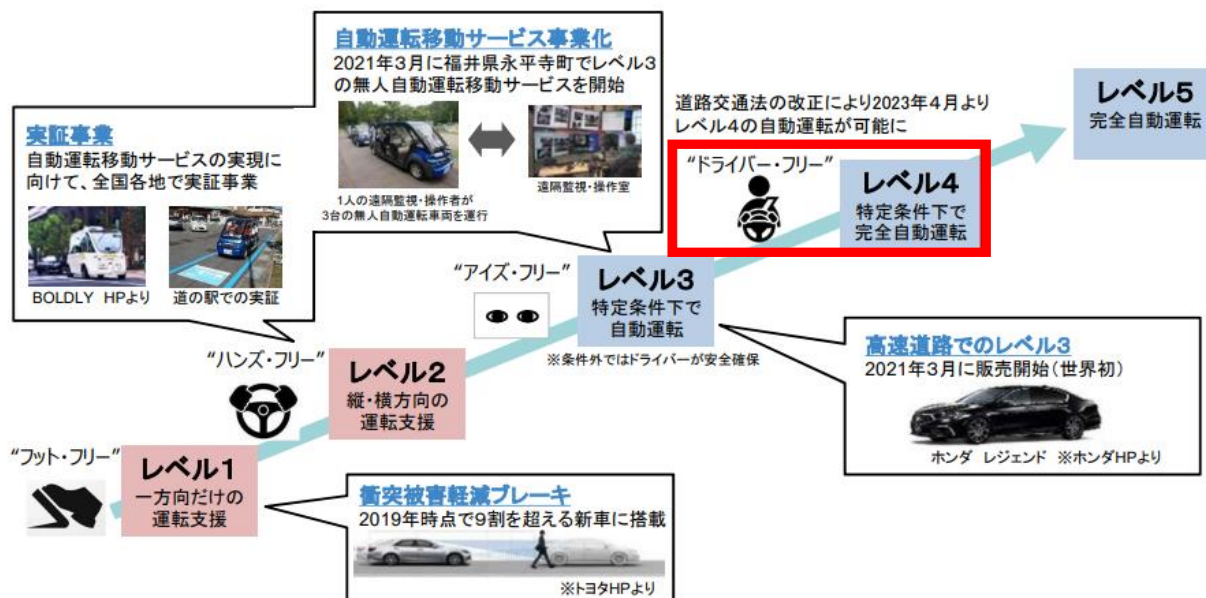


## その他の交通施策における活動報告

### 1 自動運転（レベル4）の実現に向けた調査・導入調整（地域公共交通計画5－1）

#### （1）自動運転とは

道路交通法の一部が改正され、令和5年4月1日から自動運転（レベル4）が可能に。国は、令和9年度までに全国100箇所まで自動運転（レベル4）の実現を目指している。（出典：国交省資料）



#### （2）実施主体

岐阜県が主体の東濃5市及び下呂市を構成員とした「東濃地域自動運転特区推進プロジェクト」（令和6年2月発足）により実施。

#### （3）令和6年度調査事業概要

特定自動運転（自動運転レベル4）に実現に向けた調査事業の実施

ア 事例収集：先進地事例を収集し、ホワイトタウンにおける自動運転導入検討の参考とする。

イ 地域における交通課題の整理

ホワイトタウンにおける現在の交通状況等から交通課題を整理する。

ウ 自動運転の導入可能性検討：課題解消に向けた自動運転導入の可能性を検討する。

団地内交通（外周ルート）と路線バスの結節（運転手不足への対応）

エ 車種の選定：地形、道路状況などを考慮し、状況に適した車種の選定調査

オ リスクアセスメント

必要台数、走行回数や頻度等を検討。課題の洗い出し及びその解決・対応方法の整理・検討

カ 自動運転実現による経費・採算性の検証

自動運転レベル2、自動運転レベル4の実装に係る導入経費の検証を実施

キ 社会受容性の検証：アンケート調査等による自動運転に対する理解度（不安や期待）等の把握

#### （4）令和7年度調査予定

① 自動運転レベル2での実証実験

② 団地内高齢者の移動手段に係る基礎調査（高齢者の足問題に対応）

- ③ 自動運転レベル 4 の実装に係る運用経費、採算性の検証を実施
- ④ 自動運転実装の効果の検証：自動運転が将来的にどのような効果をもたらすかの検証

## 2 子どもを対象とした利用促進（地域公共交通計画 4－7）

### バスまつり

#### （1）概要

開催日時 令和 6 年 11 月 9 日（土）午前 9 時 00 分～正午

開催場所 ピアゴ多治見店駐車場（出入口付近）

主催／協力 多治見市／東濃鉄道株式会社、ピアゴ多治見店

#### （2）来場人数 391 人（R 5 実績：589 人）

大人：206 人（男性：78 人 女性：128 人）／子ども：185 人（男児：103 人 女児：82 人）

#### （3）内容

コーナー	内容
①バスグッズづくりコーナー	プルバックカー及びペンスタンドの作成
②バス検定（クイズコーナー）	バスに係る問題を解くことによりバスの知識を学べる
③ぬり絵コーナー	バスちゃんのぬり絵を楽しむ
④バスチケット 65 出張受取所開設	チケットの受取ができる窓口を開設（9 人が受取）
⑤公共交通 P R コーナー	「たじみの公共交通」（市内の公共交通ネットワーク図）の設置及び公共交通に係るチラシの設置
⑥バスの展示	路線バスの展示、バスの乗り方が分かるパネルを車内に貼付、
⑦記念写真コーナー	車掌、バスガイドの制服を着用し、パネル前で写真撮影

#### （4）アンケートの実施（回答人数 57 人）

ア 自宅の最寄りのバス停が分からない方が約半数いる（24 人）

イ 路線バス、ききょうバス以外の公共交通機関を知らない方が多い

ウ 公共交通をもっと使う条件のベスト 3

①デマンド型バスの導入、②交通系 IC カード等便利な決済、③利用の分かりやすさ

## 3 学生を対象とした利用促進（地域公共交通計画 4－5）

高校生の公共交通利用促進策に取り組むため、市内の高等学校 4 校の 2 年生を対象に WEB アンケートを 12/2～12/13 まで実施。通学の現状や休日時のお出かけの実態などを把握し、利用促進案を検討する。現在集計中で結果は第 4 回で提示予定。